

# 地球温暖化防止実行計画

平成27年1月

浅地高周波株式会社

## 1. 事業の内容

### 金属熱処理業

高周波誘導加熱技術を利用した受託加工を主とする事業活動を行っている。

この生産活動に於いては、地球環境に少なからず負担を与えている事実を認識し、環境保全のための取り組みが重要課題であるにとらえ、事業活動を通じて地球、地球環境の維持向上に貢献することをめざす。このため、私たちは、以下の取り組みを社員一丸となって推進する。

## 2. 計画の目的

環境に配慮した事業活動を推進するための具体的な手段および推進体制を定め、それに基づき温室効果ガスを削減することにより、地球の温暖化対策を推進するとともに、循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築をめざす。

## 3. 計画の期間

地球温暖化防止実行計画の計画期間は、平成26年度から平成30年度の5年間とする。

## 4. 計画の範囲

本社工場

## 5. 温室効果ガスの排出量の現況

### (1) 平成25年度温室効果ガス排出状況と燃料別排出割合

	[排出量(kg-CO <sub>2</sub> )]	[排出割合(%)]
二酸化炭素	56,206	100.0
(電気)	53,745	95.62
(ガソリン)	2,462	4.38

※二酸化炭素排出量算定係数…電気(0.63) ガソリン(2.32)

### (2) 温室効果ガス排出原因分析

当社の事業活動における、温室効果ガスの排出原因は、工場機器類及び照明・冷暖房に関わる電気が主たるものである。ガソリンは社用車(2台)の燃料である。

## 6. コピー用紙、廃棄物、地下水使用量の現況

### (1) 平成25年度コピー用紙の購入量

購入なし

(2) 平成25年度廃棄物の現況

廃棄物の種類

紙類（事務用紙）、 他

(3) 平成25年度水道使用量の現況

地下水を使用しているため、正確に把握できていない。

（ 内訳・機器冷却水：約 2,146,000L ）

7. 二酸化炭素排出量等の削減目標

平成25年度の排出量を基準として二酸化炭素の削減目標を次のとおり設定する。  
二酸化炭素排出量は、工場での工作機械類で使用する電力使用量が主たるものである。  
このため、受注生産量の増減が二酸化炭素排出量を大きく左右することから、削減目標は原単位（売上高：百万円あたり）とする。

	平成25年度	平成30年度	増減目標
二酸化炭素排出量 (燃料別使用量内訳)	2,105kg-CO2/百万円	1,999kg-CO2/百万円	△5%
電 気	85,309 kWh	81,043 kWh	△5%
ガソリン	1,061L	1,008L	△5%

8. 削減のための取組み

(1) 電気

- 1) 非使用時、不要場所の消灯及び間引きを徹底する
- 2) 冷暖房の空調温度を適正（冷房28度、暖房20度）に設定する  
中間期(春・秋)は、運転を中止する
- 3) 営業時間外の冷暖房運転を中止する
- 4) 事務所の照明に個別スイッチを付け、空席時の消灯を徹底する
- 5) エアコン使用期間中は毎月1回フィルターを清掃する
- 6) 節電タップを使用し待機電力を削減する
- 7) デマンドコントローラーを導入し電力の見える化で削減する

(2) ガソリン

- 1) 定期的に車両の点検整備を実施する
- 2) アイドリンクストップを徹底する
- 3) 急発進、急加速をせず、経済的な運転をする
- 4) 計画的な訪問スケジュールによる運行距離の短縮をする
- 5) ガソリン車からハイブリッド車に移行する
- 6) タイヤ空気圧を適正に保つ

## 9. その他の環境対策

### (1) 紙使用量の削減

- 1) 両面印刷、両面コピーを推進する
- 2) 使用済み用紙の裏側利用を促進する
- 3) 使用済み封筒の再利用を促進する

### (2) 水使用量の削減

- 1) 水道蛇口に節水コマを設置する
- 2) 節水を呼びかける標語を掲示する

### (3) 廃棄物の削減

- 1) 金沢ごみゼロドットコムを活用し、分別を徹底する
- 2) 再利用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する
- 3) 紙のリサイクルに努める
- 4) 製品をできるだけ長期間使用する

### [環境保全活動の推進]

地域清掃や里山などのボランティア活動に参加・協力する。

## 10. 計画の推進体制

### 社員への啓蒙

- 1) 環境活動の成果、評価および環境保全に関する情報を社内に発信し、常に関心を持たせる  
(光熱費、ガソリン代、事務用品等の単価・使用量の社内掲示により節減意識の向上をはかる)
- 2) クールビズ、ウォームビズによる適正温度への積極的対応の指導を行う
- 3) 環境関連の研修会に参加、および必要な資格を取得推進させる